

研究テーマ 自分との関わりの「見える化」を通して、主体的に問題解決させる学習指導の工夫  
—第4学年 「県内の特色ある地域と人々の暮らし」—

### 【提案】

学習範囲が自分の住む市町村から県内に広がり、子供たちは他市町村の様子を学ぶ意味を見いだせず、主体的に学べていないと感じる。そこで本実践では、既習事項の自分の市と対比させて学習問題をつくったり、自分の市との比較内容が可視化できるワークシートを活用したりすることで、「社会的事象の見方・考え方を働かせながら、主体的に問題解決する子供の姿を目指した。



【学習で調べたことと自分の市を比較しながら、それぞれの国際交流の特徴をまとめたリーフレット】

## 1 実践のポイント

### (1) 子供の疑問を引き出すための資料提示と子供の発言に基づく学習問題づくり

「つかむ」では、資料を提示する際、子供たちが疑問を抱くように順番や提示方法を考える。そして、子供たちの疑問や考えを解決したいというところまで高められるよう、問いを重ねるとともに子供たちの発言を黒板に書き出す。子供たちの問題意識を高め、解決しなければならないという切実感をもたせた後、子供たちの発言をもとに学習問題をつくる。そうすることで、学習への動機が高まり、追究しようとする主体性が出てくると考える。

### (2) 社会的事象の見方・考え方を働かせて理解を深めるために比較内容を見える化させるワークシートの活用

学習範囲が自分の住む市の外側に広がったことで、自分の知らない市町村の学習に対して、「よく知らない」ということで、学習の意欲が高まらないことも考えられる。そこで、知らない市町村を学ぶ子どもでも「自分の住んでいる市町村との違いは？似ているところは？」と、既習事項である自分たちの市町村と学習内容である市町村をいつでも比較できるワークシートを作成して活用していく。自分の市町村と比べることで、自分の市と共通点や相違点を意識しつつ、次第に他の市町村に対する関心を高めることができる。また、比較や関連付けなどの社会的事象の見方・考え方を働かせて学習を進めることができると考える。

## 2 実践の位置付け

### (1) 小学校学習指導要領との関連

内容(5) 県内の特色ある地域の様子について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア(ア) 県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解すること。

(イ) 地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめること。

イ(イ) 特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現すること。

本実践は、内容(5)の「県内の特色ある地域の様子」のうち、内容の取扱いで示された「国際交流に取り組んでいる地域」について、埼玉県東松山市を事例地に取り上げる。東松山市は、国内外の観光客と市民が集う国際的なウォーキングイベントの開催地で、ウォーキングを通じた国際交流、姉妹都市提携を行っている。一方で、市内在住の外国人との多文化共生を目指して、ボランティア団体を中心に様々な取組をしている。外国人居住者との多文化共生に向けた活動だけでなく、国際的なイベントによる国際交流が催されている点に特色があると考え、事例地として取り上げた。

### (2) 実践のポイントの学習評価との関連

#### ・子供をよりよく見取るための多様な評価方法の実施

実践のポイントである「自分との関わりを見える化することで、主体的に問題解決に取り組む」とは、社会的事象の見方・考え方を働かせながら、問題を追究する姿を想定している。この姿を3つの方法で評価する。まず「つかむ」「調べる」の段階で使用するワークシートに書かれた東松山市に関する情報収集の様子から、主体的に追究する姿勢を評価する。次に、「まとめる」の段階で作成するリーフレットに書かれた日高市と東松山市の国際交流の特徴から、社会的事象の見方・考え方を働かせながら学習する姿を評価する。最後に、小単元の最後の振り返りで「分かったこと・前と考えが変わったこと・疑問に思ったこと」などを記述させ、学習による理解の深まりや子供の変容を評価する。

## 3 実践の内容

### (1) 単元の目標と評価規準

国際交流に取り組む東松山市の位置、スリーデーマーチなどの国際交流活動の歴史的背景、人々の協力関係等に着目して、地図帳や写真資料等の各種資料で主体的に調べ、国際交流の取組、在住外国人の支援策、姉妹都市との交流について、東松山市の国際交流の特色を考えることができるようにする。また、図にまとめたり、文章で記述したりすることを通して、東松山市では人々が協力して、在住外国人と交流する国際都市を目指したまちづくりをしていることを理解できるようにする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集めて読み取り、地域の様子を理解している。 ②調べたことを絵や文章などにまとめ、県内の特色ある地	①国際交流を進める東松山市の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見だし、地域の様子について考え表現している。 ②国際交流を進める東松山市の取組や経緯、人々の協力の様子について、比較・関連付	①県内の特色ある地域の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。	け、総合などして地域の特色を考え、表現している。	
---	--------------------------	--

**(2) 指導計画と評価計画 (8時間)**

○内の数字は時間を表す。

〈 〉内は評価の方法を表す。

**知**：知識・技能      **思**：思考・判断・表現

**態**：主体的に学習に取り組む態度

	学習活動・学習内容	評価の観点・内容・方法	資料
つかむ	<p>① 日高市と東松山市に関する資料から、東松山市と外国人の関係に関心を持ち、学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日高市と東松山市の違いを比べる</li> <li>人口、観光客数、市民交流イベント(日高市のにじのパレードと東松山市の日本スリーデーマーチ)の様子、外国人居住者数の推移</li> <li>東松山市のスリーデーマーチには、外国人の参加者が多く見られること</li> <li>学習問題をつくること</li> <li>学習計画、まとめ方を知り、見通しをもつこと</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>実践のポイント(1)</b></p> <p>学習問題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>東松山市は、なぜ多くの外国人が住んでいるのだろうか。また、なぜ多くの観光客が訪れるのだろうか。</p> </div>	<p><b>態①</b> 資料の比較から東松山市の参加者同士の交流の様子に関心を持ち、その理由について主体的に追究しようとしている。</p> <p style="text-align: right;">〈発言〉</p> <p><b>思①</b> 資料の読み取りを基に学習問題を立て、その予想や計画を考えたりして、文章等で適切に表現している。</p> <p style="text-align: right;">〈発言・ノート〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真資料 (日本スリーデーマーチ) </li> <li>写真資料 (にじのパレードの様子) </li> <li>統計資料 (日高市と東松山市の観光客数と外国人居住者数の推移)</li> </ul>
調べる	<p>② 東松山市の位置や特徴、外国人観光客や外国人居住者の人数、友好姉妹都市について日高市と関連付けながら調べ、東松山市の概要を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東松山市の位置や地形、土地利用</li> <li>日本スリーデーマーチのこと</li> <li>東松山市の外国人観光客や居住者数</li> <li>姉妹都市ナイメーヘン市(オランダ)</li> <li>各国に国旗があり大切にしていること</li> <li>日高市との共通点・相違点</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>実践のポイント(2)</b></p>	<p><b>知①</b> 地図資料や写真資料の読み取りから東松山市の位置や特徴、姉妹都市交流について日高市と比較しながら調べ、東松山市の概要を理解している。</p> <p style="text-align: right;">〈発言・ワークシート〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉県の地図</li> <li>資料(スリーデーマーチの趣旨)</li> <li>統計資料</li> <li>世界地図</li> <li>国旗(オランダ)</li> </ul>
	<p>③④ 東松山市国際交流協会の取組を調べ、共生を目指したまちづくりをしていることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東松山市国際交流協会の取組</li> <li>国際交流</li> </ul>	<p><b>知①</b> 東松山市国際交流協会の人の話や写真資料の読み取りから、東松山市では国際交流を進める人たちが取り組んでいることを理解している。</p> <p style="text-align: right;">〈発言・ノート〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流協会の取組</li> <li>国際交流協会の人の話</li> </ul>

調べる	⑤⑥ 東松山市役所の取組から、外国人住民と共に生活するまちづくりについて調べる。学習問題の答えをまとめる。 ・市役所の外国人住民への取組 ・多文化共生	<b>知①</b> 東松山市役所の人の話や市役所の事業内容の読み取りから、東松山市が日本人と外国人の共生に向けた取組を進めていることを理解している。〈発言・ノート〉	・東松山市役所の外国人住民に向けた取組 ・東松山市ホームページ
まとめる	⑦⑧ 学習問題の結論をまとめるとともに、東松山市のまちづくりの特色をリーフレットにまとめる。 ・学習問題の結論をまとめること ・ワークシートに東松山市のくらしの特色をまとめること ・学習したことをリーフレットにまとめること <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <b>学習問題の結論</b>            東松山市は、国際交流イベントを開いたり、外国人の生活にかかわるようなまちづくりをしたりして、共生を目指しているので、外国人が多い。         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <b>実践のポイント（２）</b> </div>	<b>思②</b> 学習してきたことを基に、東松山市のまちづくりの特色について考え、学習問題の答えを文章などで適切に表現している。〈発言・ノート〉 <b>知②</b> 東松山市の共生を目指すまちづくりの取組や特徴について理解したことを、日高市の取組と対比させながら、絵や文章等で適切に表現し、まとめている。〈リーフレット〉	

#### 4 実践結果と考察

(1) 子供の疑問を引き出すための資料提示と子供の発言に基づく学習問題づくり

##### 〈結果〉

##### ①学習問題づくりにむけて選んだ資料のねらいと子供から引き出したい発言

学習問題づくりで重要なのは、はじめに社会的事象への関心をもたせ、徐々に関心を高めながら、最後に自分で解決したいと思う疑問を抱かせることだと考える。子供たちが疑問を共有し、主体的に学習問題をつくるためには、資料の精選と作成が重要である。資料作成は、教師がねらいをもち、子供に読み取らせたい情報と引き出したい発言を想定して行う必要がある。

教師のねらい	ねらいに即して提示する資料	資料から引き出したい発言
a 東松山市への関心を高めたい。	・東松山市と日高市の比較< a b > (㉗人口の比較、㉘イベント目的、観光スポット目的ごとの観光客数)	「東松山市は、日高市より広くて人口が多いね」
b 日高市と比較させることで、主体的な学びにつなげたい。	・イベントの様子を示す写真< b c > (㉙日高市の「にじのパレード」、㉚東松山市の「スリーデーマーチ」)	「日高市と比べると、東松山市は外国人の参加者が多いね」
c 「なぜ東松山市は外国人が多いのか」という疑問をもたせたい。	・外国人居住者の比較< b c > (㉛日高市、㉜東松山市)	「日高市より東松山市の方が外国人の住む人が多いね。」

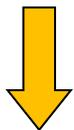
上記のような発言を引き出しつつ、子供たちの関心と疑問を高め、最後は「**どうして東松山市には、日高市よりも外国人が集まるのだろう**」という発言を引き出す。この発言がでることで、「東松山市には日高市にはない外国人が集まりたくある何かがあるのではないか」という疑問が生まれたという

ことになるからである。

## ②資料提示から子供たちの言葉で学習問題をつくるまで



### 手順1 社会的事象と出合わせる 統計資料を読み取り、学習する市町村への関心を高める。



教師は、資料⑦と⑧を提示し、どちらかが日高市であることを伝える。児童は資料をもとに話し合う。  
T「グラフを比べて見てみましょう。どんなことが分かりますか。」  
C「A市の方がB市より人口が多い。」  
C「B市は、イベントに来るお客さんの数がA市より多いです。」

### 手順2 学習する市町村の特色を見出させる① 写真資料の比較から、二つの市の違いに気づかせる



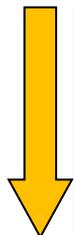
教師は、資料⑤と⑥を提示し、イベント名を伝える。児童は、発問を受け、違いの有無を話し合う。  
T「それぞれのイベントに、どんな人たちが参加しているのでしょうか。」  
C「A市は外国人が多いね。たくさん外国人がいて外国みたいだね。」  
C「B市は逆に外国人がいなくて、お年寄りが多く見えます。」

### 手順3 学習する市町村の特色を見出させる② 統計資料の比較から、気づきを確認させる。



教師は、資料⑦と⑧を提示する。児童は資料をもとに話し合い、気づきが事実であることを確かむ。  
T「二つの市に住む外国人の人数の移り変わりを調べましょう。」  
C「A市はB市の2倍近い外国人が住んでいます。最近増えています。」  
C「B市は外国人の人口が横ばいで少ないです。」

### 手順4 学習問題作り わかったことと疑問を整理し、子供たちに学習問題づくりを行わせる。



教師は、A市が東松山市でB市が日高市であることを知らせる。  
C「東松山市は日高市よりイベントに来る人数が多かった。」  
C「イベントに来る外国人が多いし、住んでいる人も日高市より多い。」  
C「東松山市は、どうして外国人の人口や来る人が多いのだろう。」  
T「そうですね。では、どのような学習問題でこれからの学習を進めていきましょうか。」  
下線部の子供の発言をきっかけに、教師は学習問題づくりの発問を子供たちに投げかける。子供たちは、板書や自分たちの発言を復唱する教師の声を手がかりに、自分たちの言葉で学習問題をつくっていく。

学習問題  
東松山市はなぜ多くの外国人が住んでいるのだろうか。また、なぜ多くの観光客が訪れるのだろうか。

### 〈考察〉

資料提示のねらいと順序、引き出したい発言を明確にすることで、子供たち同士の話し合いを中心にして学習問題をつくることができた。

**(2) 社会的事象の見方・考え方を働かせて理解を深めるために比較内容を見える化させるワークシートの活用**  
**〈結果〉**

自分とのかかわりを見いだしながら学習するために、ワークシートに自分の市のことを書き出す欄を作る。そうすることで、「日高市のまちづくりの特色を明らかにするためには、まちづくりの特色にどんなものがあるのか知らなければならない」という学習の動機づけが生まれると考える。また、日高市の情報は、特色ある地域の学習で学んだことと常に比較できるようになっており、共通点や相違点を考えたり、まちづくりの特色を推測したりして学習できる。

このようにして、社会的事象の見方・考え方を働かせながら、主体的に学び続けることができるようにした（番号は、記述が進む順番）。

①最上段  
大単元を貫く学習問題

②「日高市」の欄  
既習事項である自分の市のことを記述する。

③「小川町」「川越市」「東松山市」の欄  
4年生で学習する特色ある地域のことを調べ記述する。

学習問題  
埼玉県の人たちはどんな特色を生かしているのだろう

	日高市	小川町	川越市	東松山市
土地や交通の特色	山地と谷間にあり 高い戸数、JRが通る村、JRは東武、東武にのっている。	埼玉県の中央部北、山地谷間にあり、JRは東武、東武にのっている。	台地が西から南に広がり、低地は北西東に広がる。日高市より広い。電車(JR)東西に横切る	私鉄が通る 土地の起伏が激しい 動物の多いところがある
まちの特色	セピア工場でのリサイクル 遠足の多い地白せんが多い	日高布織りの文化が少ない	古い茶屋	外国のまちなかの様な風景 オランダイヤーハン市と似ている都市
特産物	ハギ、モチ、マンジュウ、カワセミ、プルベリ、お茶、まはらきんぐ	小川和紙 (和紙和紙)・無形文化遺産	いもほり、川越祭、しまい、時のかめ	まっくん、あやかん、ぼたん、スリーデイズ
行事	高きん 1300年のまちまじり(お祭り) 様々な行事、本祭り、イベントの多いまち	昔ながらの技にほりをもて、くらし、伝統工芸	昔ながらのまちなかを残したり、生かしたりしながら、住民や観光客、町の人々が協力して生かしている。	外国人との交流を目指して、国際交流センターや生活にのりかえセンターを設けている。

④日高市と比較 学習を進める中で書き足し、学習中の市との共通点・相違点を考える

⑤各市の「くらし」の欄 それぞれの市の学習で学習問題の答えを出した後、その市のまちづくりの特色について記述する。

**〈考察〉**

自分の住む市の内容と学習している市の内容を常に比較しながらまちづくりの特色や相違点・共通点を考えることができた。比較を繰り返すことで思考が深まり、「まとめる」段階では市ごとに国際交流の特徴があることに気づき、文章に表せるようになった子供も出てきた。そのことが、まとめる活動で作成したリーフレットの中に見いだすことができた。

東松山市

東松山市は、たいてい外国人とワーキングを楽しみながら自然の中を歩き、ゴルフを目指す大会でオランダイヤーハン市と交流する大会になりました。1年に1回やる大会ですが毎年参加する人もたくさんいます。

ホームページを閲覧しました。見えました。

ポスタータウン  
外国人の人達のために、あんなにきれいなポスターを貼ってほしい。

まとめ感想  
東松山市は、世界の人々と仲良くするためにオランダイヤーハン市と交流する大会で、たくさんの人達と交流する大会になりました。世界を国を色々な国で参加している人達と交流する大会は、とてもいいと思います。

日高市

日高市は、大人数の国鳥山(オサン)市と友好都市になった。そのおかげで、高知の地でも、ホームページを見てみました。

外国人(カイン)と、お話ししました。お話ししました。お話ししました。

まとめ感想  
日高市は、大人数の国鳥山(オサン)市と平成29年11月10日から13日まで小学生が日高市をおとす。12日には、日高総合公園で市内の小学生とスポーツ交流を行いました。スポーツを通じておたがいの交流が深まりました。お話ししました。お話ししました。お話ししました。

国際交流

子供が捉えた国際交流の特色  
「世界の人々が仲良くするために交流イベントを実施している」

子供が捉えた国際交流の特色  
「スポーツを楽しんで仲を深める」

## 5 研究の成果と今後の課題

### 〈成果〉

- ・ワークシートを使い、既習事項である自分の住む市の特色と対比させながら他市を調べたことで、自分の市との共通点や相違点を考えながら学習を進められた。社会的事象の見方・考え方を働かせながら学習を進めることができた。

### 〈課題〉

- ・ゲストティーチャーのオンライン参加など、実際に携わる方と話す機会を設け、対話的な学びを充実させる必要がある。
- ・国際交流が中心となり、多文化共生の視点が弱かった。